

令和4年度 第2回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月14日（月） 13時55分から15時05分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 佐藤 元久、小林 宗吉、山下 峰與、吉田 恵子、下村 優子、
村松 保邦、神間 郁子、下原 直美
- 4 欠席委員 木村 佐枝子、高須 里美
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（協働センター所長）
- 6 学 校 服部 裕一（校長）、今田 和幸（教頭）、鈴木 貞良（教諭）
佐藤 奈帆（CS ディレクター）
- 7 市教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）部活動について
 - （3）これまでの支援活動（下村学校支援コーディネーター）

10 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆

11 会議記録

司会の村松委員から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下村委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）部活動について

- ・生徒数に対して部活数が多いことが問題となっている。対策として部活数を減らす、部活動をクラブ化し指導を外部に依頼する、男女の部活を合併する等の案が上がっている。

野球部を例に挙げると、現在の部員数では大会に出られないため、鹿玉中との合同チームで活動している。保護者からは、来年度以降の不安が大きいとの意見がある。一方で、人数が揃わなかったら廃部も仕方ないという意見もある。廃部ではなく休部扱いや、来年度以降も合同で出来ないか検討中だが、部活数を減らすという本来の目的から逸脱してしまう。今後も職員で検討委員会を立ち上げていく予定。（学校）

- ・自分が卒業生の立場として、廃部よりも休部にして名前だけでも残して欲しい。野球部に入りたい子に他の部活を勧めるのも心苦しい。（村松委員）

- ・学校の部活に入部せず、外部でダンス等の活動している子もいる。野球部に限らず、他の部活も来年度の入部数によっては厳しい。(学校)
- ・スポーツはブームがある。漫画や J リーグ等の影響を受けている。廃部にしてしまうより休部の方がまたすぐに復活しやすいのでは。また、似たような種目や男女の部活を合同にするのはどうか。(佐藤委員)
- ・職員が男女兼任した場合、大会の日程によっては土日両方の付き添いが必要で、職員の負担減にはならない。保護者ではなく職員の引率が必要な大会もある。(学校)
- ・同種目の男女の大会の日を合わせられないのか。(神間委員)
- ・大会側や会場側のスケジュールが絡んでくる。今はコロナの影響で、例えば水泳部は更衣室の密を避けるため、分散させている。保護者が休日に見てくれている部活もある。(学校)
- ・外部と先生とで指導の違いがあり、外部にどこまでお願いするのか、先生とのやり取りが難しい。(下村委員)
- ・外部の指導員は熱心な人が多いが、保護者はどちらかと言えば見守っている感じの人が多い。(村松委員)
- ・都田中は地域、保護者、生徒が部活動に熱心。地域のバックアップ体制も非常に恵まれているが、欠点は生徒数が少ないこと。(学校)
- ・都田中だけでなく、市内の人口減少地域が取り組んでいることはあるのか？一つの学校で対策するには問題は非常に重い。先生方の苦労が伺える。(下原委員)
- ・部活の選択肢を減らしてしまうのはかわいそう。他校との合同等、廃部ではなく選択肢を残せる手段を考えた方が、子供にとって良いのでは。(神間委員)
- ・第一優先は子供の気持ちだと思う。(下村委員)

(3) これまでの支援活動(下村学校支援コーディネーター)

- ・地域の方で協力してくれる企業との連絡、調整などの活動をしている。ワークショップに参加してくれる企業人の方にもお願いをした。10月の職場体験は無事に実施でき、11月はみかん農家に出向いて収穫体験をする予定。また、フルーツパークの副園長に出席していただき、3年生の都田未来創造計画の発表にアドバイスをもらった。
- ・吉田さんには、1、2年の書道の指導に入っていた。
- ・今後の予定としては、自転車の交通教室を3月に都田中、都田小、都田南小の3校合同で実施予定。
- ・この活動を通して、自分はたくさんの人との繋がりを持てた。生徒にもたくさんの地域の方との繋がりを持ち、色々なことを知り、体験出来るような活動をしていきたい。

その他連絡事項等

- ・学校から、次回会議は、令和5年2月7日(火)14:00から都田中学校被服室で開催する旨の報告があった。